

平成30年10月24日開催 第7回県政ランチミーティングに寄せられた ご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成30年10月24日(水) 12:00～13:00
- ・会場 大鹿村交流センター
- ・参加者 南信州大鹿村で、地域主体の活動を通じ、交流人口を増やす取組を実践している皆さんNPO法人 てくてく
- ・懇談内容 大鹿村観光のいま、そして未来

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 国道152号「地蔵峠」の通年通行について

(ご意見の概要)

県への要望は、観光客がスムーズに大鹿村に来ていただけるよう、地蔵峠の通行止め早期復旧と分杭峠を含めて通年通行となること。

山岳道路であり、文化の薫りがする地蔵峠を越えてくるところにストーリーがあり、観光振興に向けて国道を活かしたい。

(知事の発言)

県内で道路整備の要望はいろんなところで同じようにある。しかし、お金がなければなかなか整備は進まず、しかも費用対効果を考えれば、やはりどうしても交通量が少ないところは、経済合理性から言えば後回しにならざるを得ない。

道路も2パターンあって、住民の方が使う生活道路と観光客がもっぱら使う道路とある。私は後者の道路は、もちろん税金はある程度投入してよいが、一定程度は利用する人の費用負担がないと本当はおかしいと思っている。

有料道路化とかも含めて考えないと、観光客がもっぱら使うルートの整備の財源を作り難いと思っている。それは問題意識を持って研究してみる。

(ご意見等に対する対応状況)

国道152号「地蔵峠」の抜本的な対策としては、トンネル等が考えられるが、交通状況や緊急性、さらに中央構造線に近接する脆弱な地質等を勘案する中では、多額の事業費が見込まれます。

国道152号においては、矢筈トンネル～青崩峠間が三遠南信自動車道の現道活用区間として集中的な投資が必要なことから、矢筈トンネル～青崩峠を優先します。

地域全体の道路網の中では、松川、飯田方面を連絡する生活道路である県道松川インター大鹿線などの整備が喫緊の課題であり、これらの整備を優先します。

【担当課：建設部 道路建設課】

(2) リニア工事に伴う風評被害について

(ご意見の概要)

今は大丈夫だが、リニア建設工事の関係で、これからどこに建設残土を運ぶかもまだ分からないが、もし小渋線を使うような事があると最大で1,500台くらいダンプが通ると言われている。

その時にどう風評被害を払拭していくか、どうそれに取り組んでいくかを一緒に考えていただきたい。

(知事の発言)

先ほども J R 東海の皆さんに「地域の皆さんの理解とご協力をしっかりいただきながら事業を進めてください」と申し上げてきた。

一つは、J R 東海が残土処理の場所は出来るだけ早く決められるように、県も協力していかなければいけないと思っている。また、これから建設残土の処理量がピークになる数年間、風評被害の払拭に向けた対応は、今日のテーマである観光を中心に我々はしっかりやっていく必要がある。そこは皆さんと是非、知恵を出し合いながら対応していきたい。

(ご意見等に対する対応状況)

春の観光シーズンにあわせて、県内及び首都圏・中京圏に向け、大鹿村を含む南信州地域の観光情報についてテレビ・ラジオの番組を通じた情報発信を実施します。

中京圏で J R と連携して春の観光シーズンに向けての情報発信を実施します。

また、大鹿村観光協会と J R 関係者との話合への参加や大鹿村観光協会等への直接的な聞き取りを通じて今後の大鹿村観光の方向性を確認し、実施予定の具体的な観光の取組みについて支援していきます。

【担当課：観光部 観光誘客課】

【担当課：南信州地域振興局 商工観光課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp